

⑤ 黒瀬地域

【地域の環境特性・課題】

- 本市の南西部に位置する黒瀬地域は、中央を黒瀬川が貫流し、平地部に広がる農地と集落により田園エリアが形成され、イラスケ川沿い等には、小規模な農地と集落により里地里山エリアが形成されています。また、丘陵部の斜面や平地部には比較的規模の大きな住宅団地により市街地エリアが形成されています。
- 市街化の進行に伴い、市街地エリアの周辺などでは、宅地と農地等が混在する地域がみられます。
- 農業用水確保のために古くから乃美尾用水やため池が整備された地域であり、また昭和 61 年には国近から乃美尾に至る農地 315ha の水源となる黒瀬ダムが建設され、これらの水環境は、多様な動植物の豊かな生息・生育環境ともなっており、貴重な水生植物も生育しています。
- もみ殻薫炭による二酸化炭素固定やバイオマス発酵消化液などを利用した低化学肥料農業の取り組みが実践されています。
- 耕作放棄地や放置ため池の増加などへの対策が課題となっています。
- 市民アンケートによる環境の満足度をみると、「空気のきれいさ」、「まちの静けさ」、「田園景観の美しさ」などについては、市全体の平均より満足度が高い結果となりましたが、「交通の利便性」や「公共の広場、公園、緑」、「町並みの美しさ」については、大きく下回りました。



広がりのある農地



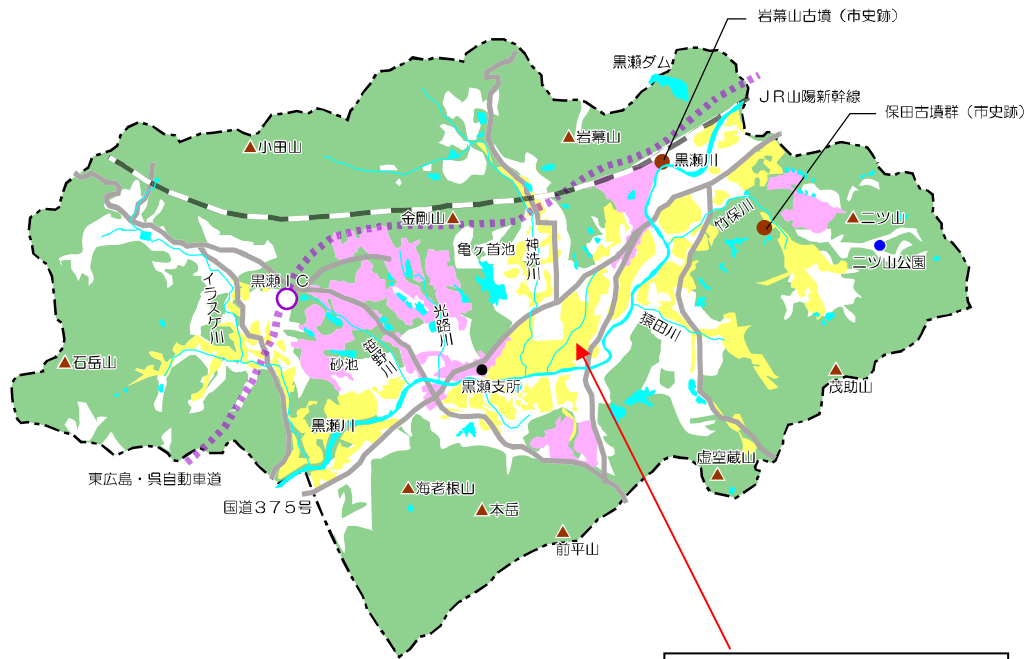
黒瀬川

【環境配慮指針】

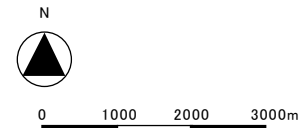
本地域では、以下のような環境配慮が望まれます。

- ・ 穏やかな田園景観と調和するよう、建築物や工作物、屋外広告物等について配慮する。
- ・ 緑豊かな里地里山の景観と調和するよう、建築物や工作物、屋外広告物等について配慮する。
- ・ 市街地内の緑や河川の保全、また必要に応じてため池などを保全し、都市部における生態系ネットワークの形成に努める。
- ・ 農地や水環境における生態系を保全する活動を推進する。
- ・ 乃美尾用水など地域の良好な環境資源を保全し、後世に伝える取り組みに積極的に参加するとともに、より多くの人に参加を呼びかける。
- ・ 二酸化炭素を固定する、もみ殻薫炭を活用した環境保全型農業を推進する。
- ・ 耕作放棄地の解消や農地の適正な維持管理を地域ぐるみで支える取り組みを促進し、田園エリアの環境保全に努める。

黒瀬地域環境マップ

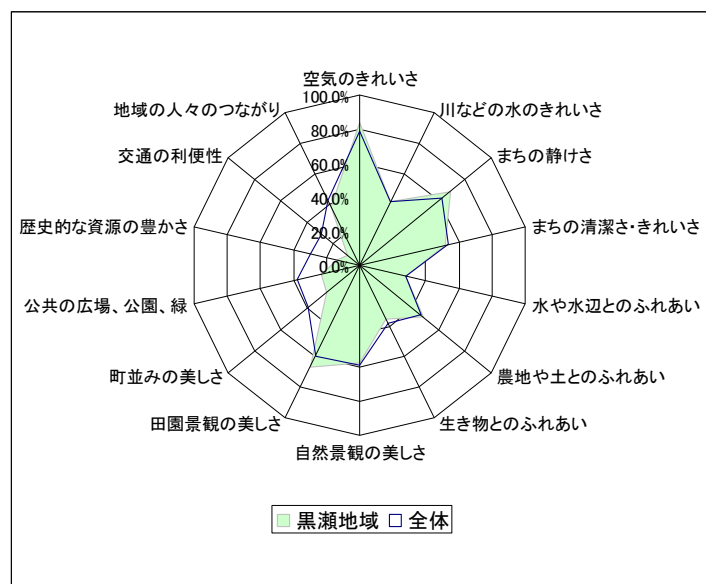


もみ殻薫炭を活用した環境
保全型農業が展開



凡 例	
	山林
	農用地区域
	市街化区域、用途地域
	主な山
	主な河川
	主な池等
	主な文化財
	主な自然公園
	高速道路（破線は計画区間）
	主な道路（破線は計画区間）
	鉄道

※重文：重要文化財
天：天然記念物
登録：登録有形文化財



※平成22年に実施した市民アンケート結果より、「満足」、「ほぼ満足」と回答した人の割合。

※この図は里地里山エリアなどの環境の区分を示したものではありません。

※白抜きの範囲は、小規模な宅地と農地の混在している地域など、山林、農用地区域、市街化区域、用途地域の区分に当てはまらない地域です。